

Aブロック スポーツの振興		Bブロック 文化の振興		Cブロック 脱炭素社会の実現	
1,	新潟県 長岡市	7,	北海道 北斗市	14,	北海道 三笠市
2,	滋賀県 彦根市	8,	栃木県 下野市	15,	新潟県 柏崎市
3,	京都府	9,	東京都 町田市	16,	大阪府
4,	香川県 三豊市	10,	広島県	17,	高知県 梶原町 (人材派遣型)
5,	高知県 土佐町 (人材派遣型)	11,	愛媛県 松山市	Dブロック その他の事業	
6,	熊本県 宇土市	12,	熊本県 八代市		
		13,	千葉県 茂原市	18,	岩手県 盛岡市
			愛知県 幸田町	19,	兵庫県 姫路市
			長野県 千曲市		
			長崎県 島原市 (4自治体合同)		

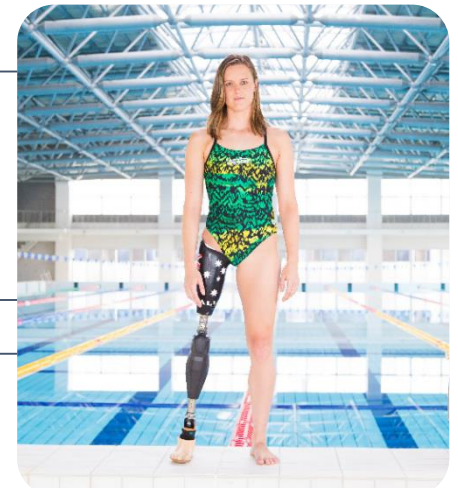
## Aブロック スポーツの振興

1,	新潟県 長岡市
2,	滋賀県 彦根市
3,	京都府
4,	香川県 三豊市
5,	高知県 土佐町 (人材派遣型)
6,	熊本県 宇土市

# 新潟県長岡市・パラスポーツ普及推進プロジェクト

## 背景

- パラスポーツは、多くの障害のある方にとって希望であり、障害の理解を深めることで共生社会化を促進する。
- また、人間の強さや、挑戦の大切さを伝える素晴らしい文化



## 現状の課題

- パラスポーツには多くの市民の理解と支援が今後も必要



## 事業の目的

- 多くの市民にパラスポーツ・パラアスリートの魅力を伝える
- パラスポーツを行う環境を整える



## これまでの取組

- 小学校等での車いすバスケ体験授業
- パラスポーツ体験イベント

# 新潟県長岡市・パラスポーツ普及推進プロジェクト

## 事業 内容

- ・ 競技用車いすの購入
- ・ 体験会開催を促進
- ・ DMSカップの支援（周知など）



## 成果・目標

- ① パラスポーツ体験者数の増加
- ② DMSカップ観戦者数の増加



## 企業に求めるもの等

- ・ 競技用車いす購入費用の寄付  
最大80万円程度
- ・ パラアスリート派遣や費用の寄付  
(バスケ、テニス、バドミントンなど)
- ・ DMSカップへの協賛

## 企業のメリット

- ・ 社会貢献活動のPR  
(贈呈式、市報、HP掲載)

## 得られる 成果等

# 滋賀県彦根市 新市民体育センター整備事業

## 背景

【本市出身の主な  
スポーツ選手】

陸上の桐生祥秀選手  
水泳の大橋悠依選手  
Jリーガーの岩崎悠人選手  
プロゴルファーの松田玲英選手  
高校では甲子園常連の近江高校

## 2025年の国スポ・障スポを滋賀県で開催 彦根市が主会場に!!

## 2025年の彦根は スポーツ一色に!!



## 現状の 課題

- ・主会場再整備のため、同敷地内にあった市民体育センターを移設することに
- ・全国から集まる選手・関係者に、スポーツのみならず、地域との交流、観光なども楽しんでほしいのに、その仕組みがない

桜咲く彦根城



琵琶湖岸の田園地帯

## 事業の 目的

本施設を拠点とし、市外県外の多くの人を呼び寄せ、人の交流によるにぎわいの創出を図りたい!!

## スポーツツーリズムの推進!!

## これまでの 取組

本施設の令和4年12月オープンを目指して

基本計画 ⇒ 基本設計 ⇒ 実施設計 ⇒ 工事着手  
(H28) (H29) (H30) (R2)



# 滋賀県彦根市 新市民体育センター整備事業

事業  
内容

- ◆新市民体育センターの建設
- ◆イベント、大会、催しなどの誘致
- ◆スポーツのほか、文化・教養、勤労者の福祉など多種多様な運営
- ◆湖東圏域周辺4町との取組

新市民体育センターイメージ図



メインアリーナ



まちなか交流スペース



## 【成果・目標】

### スポーツツーリズム

全国規模のスポーツ大会・イベント、Bリーグ・Vリーグなどのプロスポーツを積極的に誘致し、全国のアスリート・スポーツ関係者・観戦者と地域住民との出会いを創出



### 趣味・生きがい・学び

芸術（絵画・書道など）職業教育（外国語、簿記、パソコンなど）の講座・教室を開催し、知識・技術の習得とあわせ、趣味や学びを通じた生きがいづくり・仲間づくりを貢献



いつでも  
にぎわいの拠点

### 競技力・健康・体力の向上

充実したスポーツ施設の利用で競技力の向上とあわせ、各種スポーツ・レクリエーションの教室・講座への参加を通じた健康・体力・仲間づくりを創出



### さまざまな集い

各種の講演会・シンポジウム・研修会、e-スポーツ大会など幅広い用途に活用でき、また図書・学習ラウンジで集いとにぎわいを創出



観光客  
増加

交流人口  
関係人口  
増加

定住人口  
増加

産業  
活性化

得られる  
成果等

## 【企業に求めるもの等】

- ◆本施設の活用
- ◆本事業への寄附での支援
- ◆ネーミングライツ

## 【企業のメリット】

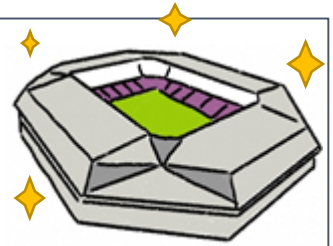
- 社員の福利厚生
- 社名入りの銘板を掲示
- 社名・商品のPR



# 京都府スタジアム発！eスポーツ産業人材育成事業

## 背景

- ・京都市に隣接する亀岡市に京都スタジアムを建設
- ・京都市内への観光客を府内の他のエリアに誘客する仕掛けが不十分



## 現状の課題

- ・人口減少・横ばい都市における若者の誘致
- ・地方都市のスポーツ施設・その周辺商業施設の日常的な活性化

## 事業の目的

- ・スタジアムという拠点を単なる興業施設としてだけでなく、次世代のイノベーション人材の教育・育成の場としても活用
- ・リアルとeスポーツとのコラボによる新しいスポーツ文化の創生のメッカとして地域活性化の促進
- ・WITH・POSTコロナ時代にオンラインでも注目されるコンテンツ活用によるスタジアムや地域物産・産業のブランディング

## これまでの取組

- スタジアムの日頃の賑わいの仕掛けとして、
- ・2020年「麒麟がくる」大河ドラマ館を併設
  - ・VR・eスポーツエリア開業に向け準備中
  - ・2021年保育園の開業、ドローン教室等の開設に向けて準備中



# 京都府スタジアム発！eスポーツ産業人材育成事業

## 事業内容

- ・ V R ・ eスポーツ拠点を活用したeスポーツ大会の開催
- ・ 360度自由視点カメラシステムによるリアルスポーツ、eスポーツ戦略分析に関する人材の育成
- ・ サイバーセキュリティ等の高度デジタル人材の育成講座
- ・ 小中高生向けプログラミング体験会・大会の開催






⇒eスポーツへの興味関心をきっかけとして、

- ・ 引きこもりがちな学生や障害の有無を問わず、得意分野を通じた交流を促進
- ・ 職業選択に結びつくような、体験プログラムを提供

## 成果・目標

- ・ eスポーツを通じて、世代や障害の有無を問わない新たな交流を生む
- ・ eスポーツ選手の育成の他、eスポーツイベントを企画するイベントーや、チームマネジメントができる人材の育成
- ・ 職業選択に結びつくような小学生向けのプログラミング体験会や、サイバーセキュリティ人材の育成講座等を実施し、興味関心から一步踏み込んだ価値を創造

## 得られる成果等

<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>8 働きがいも経済成長も</p> 	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 
--	---	--

## 企業に求めるもの等

- ・ eスポーツ大会のスポンサーとしての支援
- ・ 若い世代の興味関心をきっかけとしたキャリアづくりの支援

## 企業のメリット

- ・ 次世代のイノベーションスキル・センスを持った人材の確保
- ・ 広域的なオンライン配信等による、先進的分野への取組みや教育等への貢献などの広報



# 三豊市・宝山湖ボールパーク構想



## 背景

少子化により中学校部活動が成立しなくなり、**希望する部活動ができない**。  
 全国平均よりも早いスピードで**高齢化が進展**している(高齢化率36.2%)。

## 現状の課題

指導者不足や希望する部活動がなく、子どもたちの可能性が制限されている。  
 ⇒ **子どもが夢をかなえる環境**が十分でない！  
 高齢者や生活習慣病罹患者が全国平均より多く、社会保障費が増大している。  
 ⇒ **健康寿命延伸に向けた取組**が十分でない！

## 事業の目的

プロスポーツを核とした拠点づくりと多様なプログラムの実施



**「子どもの夢を育てる」 「元気に地域で活躍する市民」  
 「新たなビジネスモデルの創出」**

## これまでの取組

運動教室などの健康増進事業  
 プロ選手の招へいによるスポーツ教室  
 ⇒ **行政が主体**として実施する**単発・単一的な事業**



みとよ ほうざんこ  
**三豊市・宝山湖ボールパーク構想**

事業  
内容

既存グラウンドをプロ仕様かつ多種目対応に改修し、プロスポーツチームの育成と、スポーツをハブに民間企業とのパートナーシップのもと、多様なプログラムを事業化する。

地域  
プロスポーツ  
チームの育成



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう

4 質の高い教育を  
みんなに

3 すべての人に  
健康と福祉を

8 働きがいも  
経済成長も



【子どもの夢実現】  
トップアスリート  
育成プログラム



【市民の健康づくり】  
参画企業による  
健康ウェルネス事業



【ビジネスの創出】  
スポーツツーリズム  
など新たなビジネス  
の展開

<成果・目標>

- ・子どもの夢がかなうまち
- ・市民の健康
- ・民間活力によるまちづくり
- ・新たなビジネスの確立
- ・地域に根付くスポーツチームの活躍

**スポーツ×民間活力  
= 夢・健康・学びを実現**

<企業に求めるもの>

**三ト三!で、 =チャレンジ  
やっぴ三三!。**

<企業のメリット>

- ・ビジネスチャンスの探索
- ・ビジネスパートナーとの出会い

得られる  
成果等

# 高知県土佐町 カヌーのまち土佐町プロジェクト

## 背景

西日本最大級の人口湖「さめうら湖」  
「**国内有数のカヌー環境**」



## 現状の課題

「**スポーツができる環境**」の縮小



## 事業の目的

カヌーを軸にした地域スポーツの振興  
→ 「**地域環境にあったスポーツ**」と  
「**人口減少で活動が難しくなっているスポーツ**」  
双方の振興を両輪で回す

## これまでの取組

- ・ハンガリー人指導者（元世界チャンピオン）
- ・小中高校生のクラブチーム結成
- ・競技練習環境の整備
- ・JSC、日本カヌー連盟と連携した競技者育成



# 高知県土佐町 カヌーのまち土佐町プロジェクト

## 事業内容

### 土佐町カヌープロジェクト



**カヌー競技の振興**  
地域環境に沿った  
スポーツ

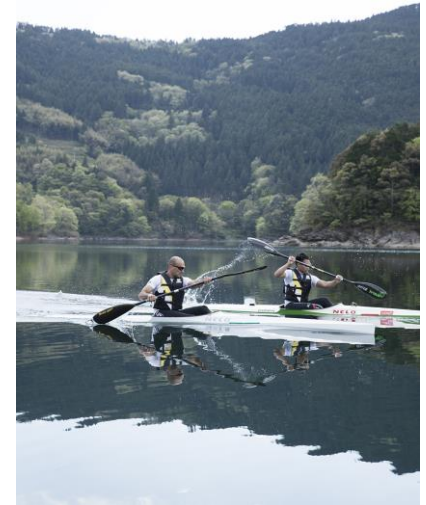


**地域スポーツの活性化**

住み続けられるまちづくり



**パドルスポーツ  
アクティビティ**  
産業振興を通じた  
経済的価値



## 得られる成果等

### 成果・目標

カヌー競技での  
オリンピック選手輩出

地域での  
スポーツ熱の高まり

人口が減っても  
やりたいスポーツができる

### 企業に求めるもの等

#### 「さめうらカヌーアカデミー」 スポンサーに！

- ▶ □ 成果が出やすい取り組みのため PR効果が高い
- ▶ □ 様々な地域のスポーツを企業がバックアップするモデルケースに
- ▶ □ 社会的意義も高い

# 熊本県宇土市・ジュニアスポーツ応援プロジェクト

## 背景

宇土市は、全国でも数少ない小学校における部活動の盛んな地域として子どもたちのスポーツ活動が行われてきたが、少子化やニーズの多様化などを要因として、社会体育へ移行した。

➡ 子どもたちのスポーツ環境が変化し、技術向上に伴い九州大会や全国大会へ出場する選手は増加傾向に！

## 現状の課題

- ・保護者への負担が大きくなり、家庭環境によっては大会に参加できず、子どもたちの夢や目標が遠のいてしまう。
- ・参加費用を捻出するため、物品などの販売や寄付のお願いで、指導者への負担も問題となっている。

## 事業の目的

ジュニアスポーツの応援



- ・子どもたちが自分の夢や目標に挑戦する、挑戦できる環境を整備する
- ・スポーツを通じ、努力や自分に自信をもつこと、感謝することを経験する
- ・全国で活躍できる人材の育成を行う

## これまでの取組

九州大会以上の大会に出場する選手などに対し、スポーツ大会出場補助金を交付

国際大会	30,000円
全国大会	10,000円
西日本・九州大会	5,000円

【大会出場実績（単位：人）】

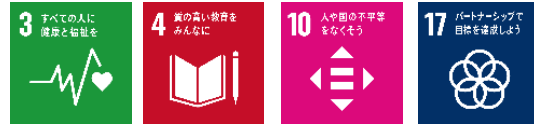
	H28	H29	H30
国際	0	0	2
全国	97	88	109
西日本・九州	97	88	88
合計	194	176	199



◀小学生ハンドボール全国大会出場

# 熊本県宇土市・ジュニアスポーツ応援プロジェクト

## 事業内容



- ①スポーツ大会出場補助金の拡充
- ②指導者資格取得補助制度の創設
- ③スポーツ能力測定などのイベント実施



## 得られる成果等

### 成果・目標

- ・子どもたちの健全育成
- ・スポーツ選手としての可能性が拡大
- ・保護者の負担軽減



**スポーツで地域に活力を**

**子どもたちに夢と目標を**

〈宇土市の有名スポーツ選手〉  
大関正代関（大相撲）  
植田直通選手（サッカー）



### 企業に求めるもの等

- ・企業版ふるさと納税によるご寄附
- ・スポーツ能力測定などのイベントの共催

### 企業のメリット

- ・知名度向上とイメージアップ
- ・支援を受けたジュニアは企業への感謝と共に将来の就職先としてあこがれや希望を持つことが期待される
- ・企業版ふるさと納税による税控除

## Bブロック 文化の振興

7,	北海道 北斗市	13,	千葉県 茂原市
8,	栃木県 下野市		愛知県 幸田町
9,	東京都 町田市		長野県 千曲市
10,	広島県		長崎県 島原市 (4自治体合同)
11,	愛媛県 松山市		
12,	熊本県 八代市		



## 背景

□全日本吹奏楽コンクールで**5年連続6度の金賞受賞**の実績を持ち、全国的な知名度もある北斗市立上磯中学校吹奏楽部をはじめ、北斗市は、音楽活動が盛んなまち！



## 課題

- 合併から15年、まだまだ**知名度が足りない！**
  - …北海道にもホクトってあるんだ。(山梨県北杜市が有名)
  - …函館市の隣のまち？



## 目的

- 市民総ぐるみによるシティプロモーションの展開…戦略的情報発信の強化
- 「**音楽のまち・ほくと**」を掲げ、本市で活動が盛んな「音楽」を用いたシティプロモーションを行うことで、知名度向上、関係人口及び交流人口の拡大を図る！

□SDGsの理念に基づくまちづくりの展開



□北斗市立上磯中学校吹奏楽部のドキュメンタリー番組の制作及び放映を実施！

□上記番組の内容に特典映像を加えたDVDを制作し、**ふるさと納税の返礼品**として登録！



## これまでの取組





事業内容

□「音楽のまち・ほくと」を掲げたシティプロモーション

⇒番組の続編を制作及び放映し、DVDの続編も制作することで、更なるPRを実施していく。

また、取組みを周知するため、広告媒体への掲載等も行うことで、効果的なプロモーションを行う。

□市内学校の吹奏楽部のサポート

⇒全国・全道大会への遠征費等の助成、楽器の購入や修繕費用等の予算化。

□一年を通じた演奏会の開催

その他にも、様々な取組みを行っていきます！



ふるさと納税で応援！  
「音楽のまち・ほくと」

全日本吹奏楽コンクール  
5年連続の金賞受賞

返礼品は  
「カンタービレ…みんなに響け」  
～上磯中吹奏楽部の夏～  
+ 演奏会の特典映像(8曲)を  
収録したオリジナルDVD

6年連続7回目の全国金賞を目指していた北斗市立上磯中学校の吹奏楽部。新型コロナウイルスのために日本中が経験したことのない夏を迎える中、限られた部活動を強いられている部員たちの音楽への情熱、そして先生や先輩、仲間との絆を伝った。

得られる成果等

【成果・目標】

- 北斗市の知名度向上
- 関係人口及び交流人口の拡大
- 市内での更なる音楽活動の推進



- ↓
- 企業誘致や観光振興、移住・定住、ふるさと納税等の個々の施策において、北斗市が「選ばれる」。
  - 文化・スポーツを通じた市民活動の活性化  
⇒市民満足度の向上

【企業に求めるもの】

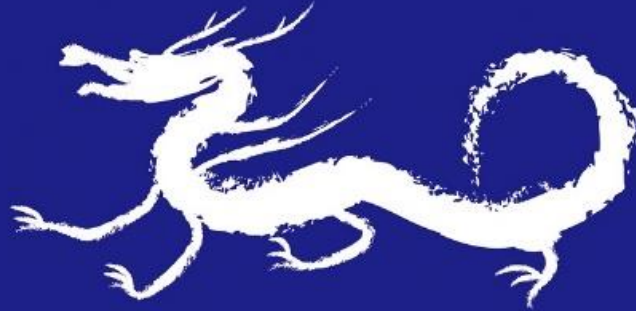
- 事業を進めていくための**財政的な支援**
- 当事業に協力いただける**パートナー**
- ⇒PRの協力や演奏会のスポンサーなど

【企業のメリット】

- 企業の**イメージ・認知度UP**
- 新たなパートナーシップの構築
- SDGsへの取組みなどのPR効果



# 下野市（しもつけし）・東の飛鳥プロジェクト



## 東の飛鳥

Higashi no Asuka

### 東の飛鳥プロジェクトとは

「しもつけ古墳群」や「下野薬師寺跡」など東国における飛鳥時代史を考えるうえで重要な遺跡が存在し、奈良時代下野国の中心地として栄えたという歴史的特性を教育・観光の資源として地域の活性化を行っている。

東方の守護者である青龍がシンボルマーク。



下野薬師寺跡復元回廊



下野薬師寺跡東金堂復元CG



甲塚（かぶとづか）古墳出土埴輪

### 下野薬師寺跡（しもつけやくしじあと）

飛鳥時代に下毛野古麻呂一族によって建立される。奈良時代には国の寺に昇格し、東国の中心寺院として東大寺等と共に日本三戒壇のひとつとして隆盛。その規模は東国最大。

### しもつけ古墳群

甲塚古墳など、この地域を支配した下毛野国造（しもつけのこくぞう）の氏族の広大な墓域。一族を出自とする下毛野古麻呂は、天皇の信任も厚く大宝律令の制定など、古代日本建国に尽力した。

# 下野市（しもつけし）・東の飛鳥プロジェクト

## 下野市の背景や抱える課題

歴史的特性、豊かな自然が育む農産物、首都圏からのアクセスの利便性など観光スポットとしての高いポテンシャルを知名度の低さによりを活かしきれていない。

⇒プロジェクトのPR・観光誘致のノウハウがない

## 事業の目的およびこれまでの取組

目的：文化財を活用した観光の活性化・シビックプライドの醸成

取組：下野薬師寺跡保存整備事業・下野国分寺・尼寺跡保存整備事業

しもつけ風土記の丘資館改修事業

VRを活用した文化財ガイドアプリの導入

東の飛鳥  
イメージキャラクター



こまる



べにまる

バーチャル  
ミュージアム



## 推進する事業の内容

楽しく歴史を学べる「下野薬師寺アプリ」のダウンロードは「App Store」または「Google Play」で検索！

- ①東の飛鳥ツーリズム事業（しもつけ古墳群などをテーマ）
- ②下野薬師寺跡保存整備事業（第3期）

下野薬師寺



## 企業に求めるもの

- ①東の飛鳥ツーリズムのプロモーション及び旅行コンテンツの開発
- ②下野薬師寺跡保存整備事業の財源支援  
下野薬師寺歴史館展示リニューアル  
下野薬師寺跡の復元整備工事

## 企業のメリット

地域資源を活かした新事業の展開  
新たなパートナーシップの構築  
社会貢献・イメージアップ  
歴史保存・活性化に関する取組姿勢のPR  
などなど



# 東京都町田市・芹ヶ谷公園芸術の杜プロジェクト

## 背景

- ・生産年齢人口が減り始めている
- ・町田市立博物館の施設老朽化による展示終了
- ・多摩都市モノレールの延伸事業



## 現状の課題

- ・中心市街地の賑わいの低下
- ・公園の魅力をも十分に活かしていない
- ・子育て世代に選ばれるまち

## 事業の目的

- ・公園と美術館の一体的な整備
- ・コンセプト「パークミュージアム」
- ・中心市街地に新たな賑わいの創出

町田の自然と文化に出会える  
パークミュージアム



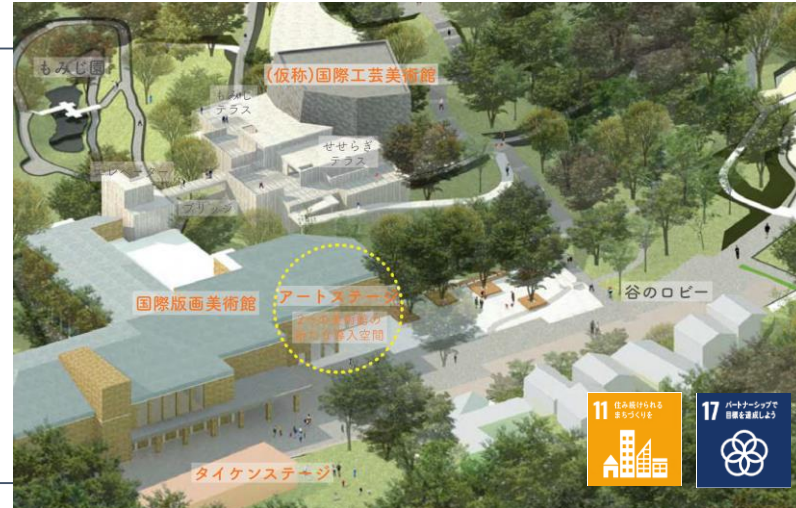
## これまでの取組

- ・ひらかれたプロセス～公園活用アイデアの抽出イベント
- ・市民参加型プロジェクト Made in Serigaya (メイドイン芹ヶ谷)
- ・公園、美術館の基本設計

# 東京都町田市・芹ヶ谷公園芸術の杜プロジェクト

## 事業内容

- ・公園と美術館の一体的な整備
  - ・芹ヶ谷公園
  - ・（仮称）国際工芸美術館
- ・一体的な管理運営



## 得られる成果等

- 成果・目標
- ・市民主体の公園活用
  - ・市民の文化芸術にふれる機会の増加
  - ・公園の来園者増加
- ➡
- ・中心市街地活性化
  - ・えらばれるまち

## 企業に求めるもの

- ・公園活用プログラム
- ・整備財源の支援

## 企業のメリット

- ・公園での実証実験
- ・商圏人口200万人を活かした新たな展開



# 「鞆・一口町方衆」応援プロジェクト

～町並みの保存、文化・伝統の継承に皆さまからのご寄附をお願いします～

## 背景

- ・ 鞆町の人口は、約13,000人(1961年) から約3,800人(2019年)に7割減
- ・ 町内の高齢者率は約50% 人口減少により地区全体で空き家・空地率が約25%
- ・ 平成29年11月 国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定
- ・ 平成30年 5月 「瀬戸の夕凧が包む国内随一の近世港町」として日本遺産に認定
- ・ 平成31年 4月 寄附募集「鞆・一口町方衆」応援プロジェクトを開始
  - 【目標額】 6億円 【募集期間】 10年間
  - 【実績額】 約1,800万円 (R元年度 1,300万円, R2年度 500万円)

## 現状の課題

- 伝統的工法による伝統的建造物（古民家）の保存、修理【喫緊の課題】
- 人口減少により伝統行事の継続、後継者・担い手不足の懸念
- 歴史的な景観や町並みの保存と安全・安心なまちづくりの取組
- 人口減により空き家・空地となった古民家等の利活用・新たな利用者の発掘

## 事業の目的

- 鞆の歴史的な町並みの保存と景観の保全
- 鞆の人々が受け継ぎ守ってきた伝統・文化の保存と継承
- 鞆町の方々が安心して住み続けることのできる住民主体のまちづくり
- 寄附を契機として、多くの個人・企業が参画したまちづくりの進展、交流人口の拡大

## これまでの取組

- ・ **個人への寄附募集の働きかけ**
  - ・ 全国各地の県人会総会等での呼びかけ、フォトコンテストなど寄附募集の認知に向けた各種取組
- ・ **【法人への寄附募集の働きかけ】**
  - ・ 福山市内や広島にゆかりのある企業訪問、福山市商工会議所会員3,000企業へのDM
  - ・ 「鞆・一口町方衆」応援パートナー制度の創設→寄附企業へ広報協力等のメリット提供
- ・ **【専用サイト等を活用した情報発信】**
  - ・ 小林克也と宮田文化庁長官との特別対談
  - ・ 「鞆の浦慕情」を歌った演歌歌手の岩佐美咲（元AKB48）の特別PR大使就任
  - ・ 専門の建築史家や歴史家などの応援メッセージ寄稿による認知度アップ

事業  
内容

## ■ 鞆の町並みの保存や歴史的な景観保全に係る取組



### シンボルプロジェクト第1弾

#### 【「町並み保存拠点施設」の整備】

- 明治前期の二階建て、切妻造平入、本瓦葺の町家を伝統的工法により修理・再築
- 修理・修景に係る住民の相談窓口や鞆町の歴史・伝統・文化などの情報発信機能、鞆を訪れる観光客と地元住民の交流の場として活用～令和3年度公開予定

拠点施設を活用した町並み保存の情報発信、交流機能の強化

町並み保存・古民家活用の取組を促進

## ■ 鞆の伝統文化を継承していくための取組

- 伝統行事に使われる用具の修理・修繕
- 伝統的建造物保存に向けた調査
- 古民家に眠る古文書資料の調査解析



【鞆の浦罾り網漁法】



【お手火神事】

鞆町の魅力向上、地域振興・活性化

### 【成果・目標】

- ① 近世港町の伝統文化や歴史的な景観の保全や町並みの保存
- ② 住民の方々が地域に誇りを持ち、住み続けられるまちづくり
- ③ 国内外から訪れてみたい、住んでみたいと思われるまちづくり

### 【企業に求めるもの】

- ・ 応援パートナー企業への登録と取組の拡散
- ・ まちづくりに対するアドバイス・支援等

### 【企業のメリット】

- ・ 各種プロモーション活動やサイトでの広報
- ・ まちづくりへの参画により地方創生・活性化に取り組む企業としての社会的認知の向上

得られる  
成果等

# 愛媛県松山市・「ことば」を軸とした文化芸術による関係人口拡大事業

## 背景

松山市は文学や文化にゆかりのあるまちとしてこれまでも、あえて形のない「ことば」に着目し、まちづくりや取組を行ってきた。

## 現状の課題

魅力的な文化的イベントや事業を展開・発信しているが、認知や広がり・効果は十分でなく、若者を中心に転出超過となっている。

## 事業の目的

- ・ 関係人口の創出・拡大
- ⇒人口増加(社会増)、地域愛の醸成、移住定住の促進
- ・ 文化的なまちづくりの推進
- ⇒まちの魅力創出と都市ブランドの確立

## これまでの取組

- ・ 俳句甲子園の開催
  - ・ 全国から募集した「ことば」を路面電車や空港、商店街など街中に掲出
- ほか

松山城



坊っちゃん列車

道後温泉本館



大街道商店街での俳句甲子園



「ことば」をラッピングした路面電車



# 愛媛県松山市・「ことば」を軸とした文化芸術による関係人口拡大事業

## 事業内容

ことば・俳句など、独自のことば文化を活用し、「俳句甲子園」や「街はことばのミュージアム」など、文化事業・イベントを展開



「ことばを大切にすまちな松山」を市内外、全国に向け発信！



台湾に設置の俳句ポスト

市庁舎にも「ことば」作品を掲出



## 得られる成果等

### 成果・目標

- ・ 「ことば」や「俳句」の聖地として観光誘客を図る
- ・ 官民協働で魅力的な文化事業を展開し、市全体で地域愛を醸成



- ・ 関係人口の創出、拡大
- ・ 人口減少の抑制

### 企業に求めるもの等

- ・ 本市の文化事業の情報発信
- ・ 「ことば」の活用

### 企業のメリット

- ・ 社会貢献活動に取り組んでいる企業としてPRできる
- ・ 各種媒体で協力企業として紹介

# 八代市・健康交流のまちづくりを目指した ヘルスツーリズム事業

## 背景

温泉や農産物をはじめとする特産品を有しているが、少子高齢化などにより地域の活性化に苦慮している。



## 現状の課題

観光地としての魅力が低下している。  
観光産業が衰退している。



## 事業の目的

ヘルスツーリズムによる  
付加価値の向上



- ・交流人口の拡大
- ・観光関連産業の活性化
- ・地産地消による域内経済の活性化

UP!



## これまでの取組

体験プログラムの候補検討、モニターツアーの開催  
健康メニュー（食）の検討

# 八代市・健康交流のまちづくりを目指した ヘルスツーリズム事業

## 事業 内容

- ・ヘルスツーリズムに関する構想づくり、事業計画策定、事業推進体制の構築
- ・ヘルスツーリズムに関する人材育成
- ・健康プログラムの造成、モニターツアーの実施
- ・プロモーション活動



## 得られる 成果等

### 成果・目標

- ・健康に興味がある人たちを八代市に呼び込む
- ・健康づくりのまちとしてのブランディング



- ・他地域にない魅力の獲得
- ・八代市の観光地としてのイメージ向上

### 企業に求めるもの等

- ・事業への企業版ふるさと納税による資金提供
- ・事業へのアイデア提供及び支援

### 企業のメリット

- ・企業のイメージ・認知度向上
- ・提供いただいたアイデアの共同実施の場の提供

長野県千曲市  
愛知県幸田町

千葉県茂原市  
長崎県島原市

# 地域連携映画 製作プロジェクト

## 地域の魅力をどのように発信する？

背景



現状の課題

- × 効果的な情報発信 ⇒ ◎ ロケツーリズムで効果的な情報発信！
- × 観光資源がない ⇒ ◎ ロケ地が観光地に！ロケの聖地に！

事業の目的



雇用UP

移住者UP

経済効果UP

これまでの取組



映像制作者へ4市町の首長がトップセールスでロケ誘致



雑誌ロケーションジャパン掲載

長野県千曲市

千葉県茂原市

愛知県幸田町

長崎県島原市

# 地域連携映画 制作プロジェクト

## 事業内容



### 直木賞候補作家「伊吹有喜」の 人気小説を映画化

4市町  
連携  
映画制作



映画を  
通した  
情報発信



魅力  
認知度  
向上



作品の舞台を  
訪れる人  
が増える！

## 地域 活性化

■長野県千曲市、千葉県茂原市、愛知県幸田町、長崎県島原市の  
4市町連携で映画を制作するユニークな取り組みです。

■ロケ地を聖地化するロケツーリズムのコンテンツとして観光誘客に活用！

## 地域経済にもたらす効果

### ■直接的経済効果

映像制作者が撮影時に消費

### ■間接的経済効果

- ・ 広告換算効果
- ・ ロケ地を訪れる人が  
ロケ地巡りで消費



さらに、メディアに露出し続  
けることによる地域経済への  
波及効果は計り知れない！！

## ご寄附いただいた企業様のメリット

企業名  
の露出

- ・ エンドクレジットでの御社名掲出
- ・ 完成披露等イベントへのご招待
- ・ 映画公式サイトでのご紹介

CSR  
地域貢献

- ・ 寄附自治体からの感謝状
- ・ 表彰者として広報掲載
- ・ 自治体ホームページでの掲載
- ・ SDG s ロゴの利用

得られる  
成果等



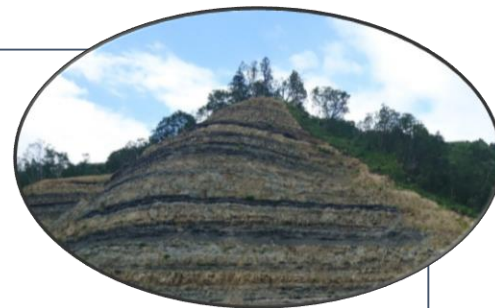
## Cブロック 脱炭素社会の実現

14,	北海道 三笠市
15,	新潟県 柏崎市
16,	大阪府
17,	高知県 梶原町 (人材派遣型)

# 北海道三笠市「三笠市未利用エネルギー活用事業」

## 背景

三笠市は**石炭産業**の発展により大きく栄えた。  
→ エネルギーの転換により産業縮小  
市内には**約7.5億トン**の石炭資源が地中に眠る。  
→ 水素約3,800m<sup>3</sup>分に相当  
(北海道の家庭 約52年分の電力量)



市内に広がる石炭層

## 現状の課題

課題① 豊富な地下資源を有効に活用したい。(地産地消)

課題② 人口減少と産業衰退を食い止めたい。(地方創生)

## 事業の目的

**地下ガス化**事業によって課題を解決する。

地下ガス化とは…

◎ 地中の石炭をそのまま燃焼することでエネルギーを生産する手法  
⇒ エネルギーの**地産地消**と新たな**産業の創出**を通じて  
**地域の活性化**を図る。



中学生見学会の様子

## これまでの取組

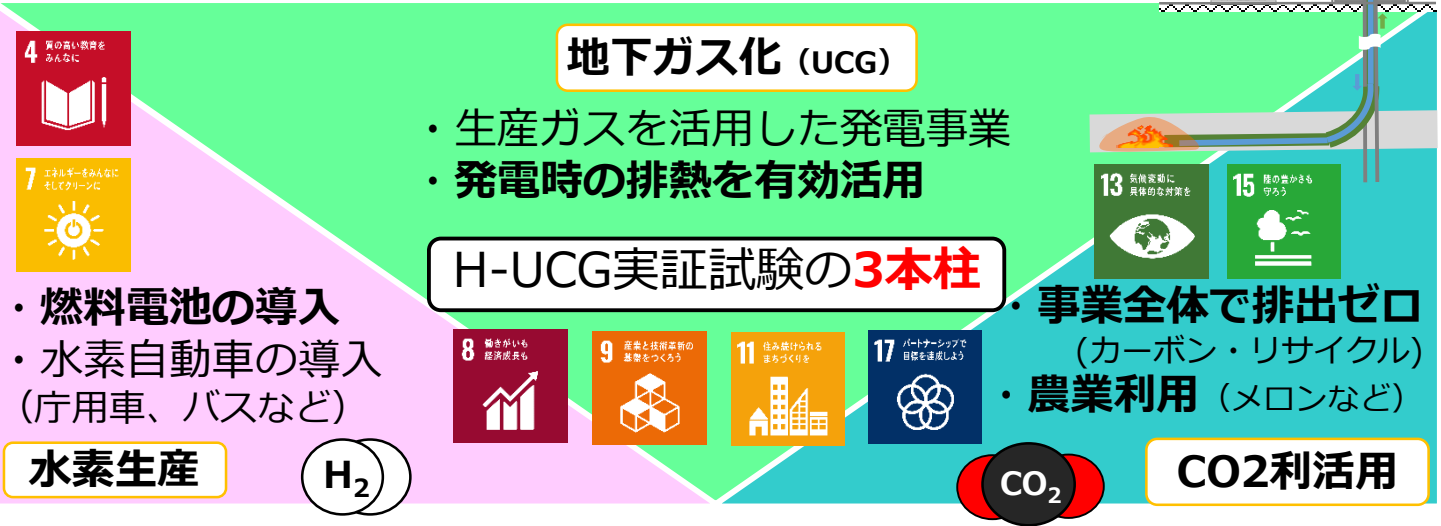
- 地下15mの石炭層での**実験に成功**するなど、これまでに多くの成果を積み重ねた。
- 講演会や中学生の実験見学会により意識を醸成。
- 国立大学法人室蘭工業大学と包括連携協定を締結。

# 北海道三笠市「三笠市未利用エネルギー活用事業」

事業  
内容

得られる  
成果等

基礎実験の実績を基に実証試験に移行



- 【目標】**
- ・ 水素供給コスト 30円/Nm<sup>3</sup>以下
  - ・ 新たな産業の創出
  - ・ 技術の広域展開により水素社会の実現に寄与
- 【成果】**
- ・ エネルギーの地産地消による新たなまちづくりを行う。
  - ・ CO<sub>2</sub>利活用によりクリーンなエネルギーを生産する。

- 【企業に期待すること】**
- ・ **FS調査**の主体としての参画 (NEDOから企業に調査業務委託)
  - ・ **実証試験**への参画 (水素製造、CO<sub>2</sub>分離・回収・利活用など、特定分野への参画も可)
- 【企業のメリット】**
- ・ 豊富な資源やフィールドを活用した研究が可能
  - ・ 特色あるエネルギー事業のノウハウを得られる。 など



# 新潟県柏崎市 新たなエネルギーのまち『柏崎3.0』

## 背景

- ・ 1900年代 石油産業のまち
- ・ 1980年代～ 原子力産業のまち
- ★ **国のエネルギー政策とともに発展**

## 現状の課題

- ・ 原子力発電に対する社会環境の変化
- ・ 地域経済の閉塞感と人口減少
- ★ **次代を支えるエネルギー産業が必要**



## 事業の目的

- ★ **再生可能エネルギー・次世代エネルギーへの転換による地域創生**
- ・ エネルギー地産地消による低炭素で持続可能なまちづくり
- ・ 送電網を活かした首都圏送電などで環境エネルギー産業を育成
- ・ 経済と環境両面で持続可能な地域社会づくりにつなげる

## これまでの取組

### ★2018.3月に地域エネルギービジョンを定めて取組をスタート

- ・ 原子力と共存の一方でエネルギー転換を明記
- ・ 固定価格買取制度に頼らない再エネ活用と産業化を検討中



## 事業内容

### ★再エネ発電導入施策展開

#### ⇒安価な低炭素電力を産出

- ・ 事業規模の再エネに導入補助金
- ・ 事業性を確保する補助率の設定
- ・ 次世代エネルギー実証も対象に

### ★地域エネルギー会社設立

#### ⇒小売事業で再エネ利活用

- ・ 再エネの低炭素電力を安価供給
- ・ 産業競争力と暮らしやすさ両立
- ・ 首都圏にも低炭素電力を供給



### 成果・目標

- ・ 再エネの大量導入と利活用による地域カーボンニュートラルの達成
- ・ 首都圏電力供給による地域産業化

経済と環境両面で持続可能なエネルギーのまち『柏崎3.0』を目指す

## 得られる成果等

### 地域エネルギー会社の将来構想イメージ



### 企業に求めるもの

- ・ 再エネや次世代エネの事業参入
- ・ 再エネ導入施策に向けた資金提供

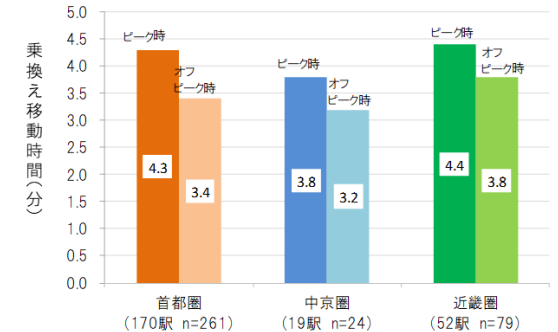
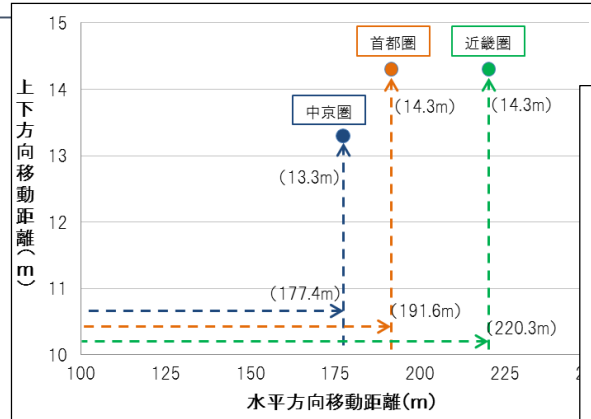
### 企業のメリット

- ・ 再エネや次世代エネの事業展開
- ・ 低炭素社会に向けた形の残る貢献

# 大阪府・公共交通機関等と連携した受入環境整備事業

## 背景

- ・近畿圏は首都圏に比べ、乗継の移動距離、移動時間が長い



※集計対象はピーク時調査及びオフピーク時調査の両調査を実施した経路のみ  
出典：第12回大都市交通センサス

## 現状の課題

- ・乗継改善を求める府民の声が以前から多い
- ・さらに、近年のインバウンド増加等に伴い、
- ・電車の乗継表示がわかりにくく複雑
- ・多言語標記が少ない

などの指摘がある

## 事業の目的

他社路線への乗継案内整備を  
対象に補助を実施



鉄道の乗継利便性向上を図る

## これまでの取組

令和元年度までに新大阪駅や難波駅など府内13駅で取組みが進められ、案内サイン、デジタルサイネージによる乗継案内を充実・強化



# 大阪府・公共交通機関等と連携した受入環境整備事業

## 事業内容

- ・府内主要駅では、利用者が求める行先案内は多様化
- ・多言語化対応において固定サインでは4, 5か国語が限界。

これまで整備した固定サインやデジタルサイネージ等から、利用者のスマートフォンなどへ情報発信

利用者の視点にたった情報案内の充実



## 得られる成果等

### 成果・目標

- ・利用者等の利便性向上
- ・公共交通の利用促進

➡ ビジネス、観光を目的とした来阪者の増加

床面案内サインにより、スムーズに案内できる



旅行者が床張りを確認しながら、歩かれている

(現場スタッフの声)

### 企業に求めるもの等

- ・来阪者の公共交通の受入環境整備への協働

### 企業のメリット

- ・利便性向上による大阪の魅力向上や鉄道沿線の地価上昇など
- ・来阪者増によるビジネスや観光需要の創出

# 栲原町・森林再生プロジェクト

## 背景

豊かな森林資源を有しているが、木材の市場価格の変動に左右され、森林の価値を最大限に高められていない。



## 現状の課題

林業を生業とする技術者の減少が進み、持続可能で豊かな森林の維持ができない。よって、山村の文化の継承が困難となる。



## 事業の目的

森林の新たな価値の創造



- ・ 林業技術者の増加
- ・ 森林の適正な管理促進
- ・ 関係人口の増加
- ・ 観光産業の活性化



## これまでの取組

- 森林組合による **F S C** 森林認証取得
- 先進企業との協働の森づくり事業
- 木質バイオマス地域循環モデル事業
- 森林セラピー基地認定

- 公共施設への木材の積極的利用
- 隈研吾氏設計施設 6 棟建設
- 環境モデル都市指定（平成21年1月）

# 栲原町・森林再生プロジェクト

## 事業 内容

### ウェルネス栲原

～誰もが森林の恩恵を享受できる社会を実現～

- 新しい日本の社会づくり
- 栲原森林づくり大学構想
- 地域のブランディング



## 得られる 成果等

### 成果・目標

- ・森林に人を呼び込む
- ・森林観光業の促進



- ・森林を生業とする人材育成  
( 20人／5年)
- ・森林関係人口の増加  
(5,000人／5年)

### 企業に求めるもの等

- ・人材派遣と交流による協働の森林づくり
- ・本プロジェクトへの資金提供

### 企業のメリット

- ・持続可能な社会づくりへの寄与
- ・企業の人材育成
- ・心身のリフレッシュ

## Dブロック その他の事業

18,

岩手県 盛岡市

19,

兵庫県 姫路市

目的

動物たちが。来園者が。スタッフが。自然が。  
すべてが「幸せ」でいられる、世界に誇る動物公園を目指しています。

事業理念 **人と動物と自然が、共生する動物公園**  
～人と動物が参加する、新しい福祉の形～



● 来園者、スタッフのための  
快適な環境構築

● 動物福祉のための  
環境エンリッチメント

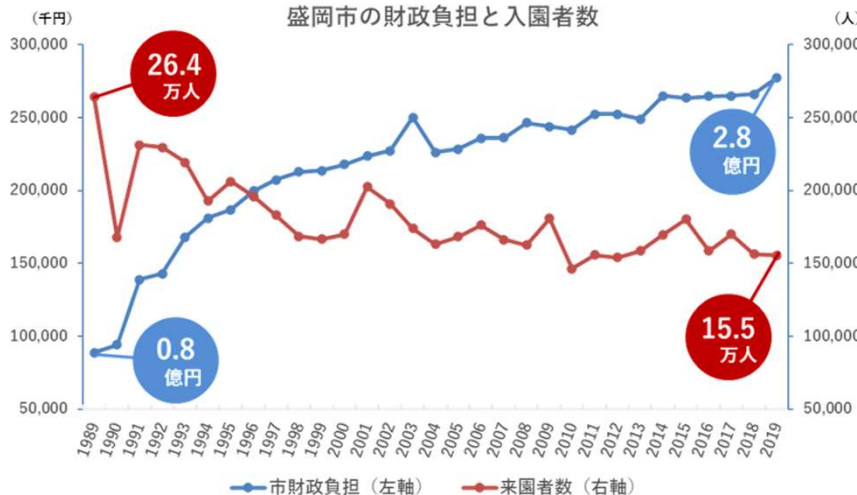
● ランドスケープイマージョン  
環境負荷の低減  
生物多様性の確保

● ● ● 盛岡市動物公園再生事業の3つの核

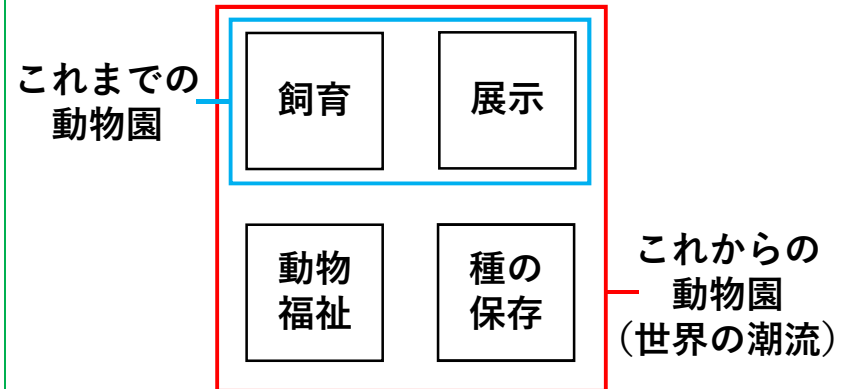
背景・課題

課題① 厳しい財政状況下における財政負担の軽減

課題② 世界の動物園の潮流である



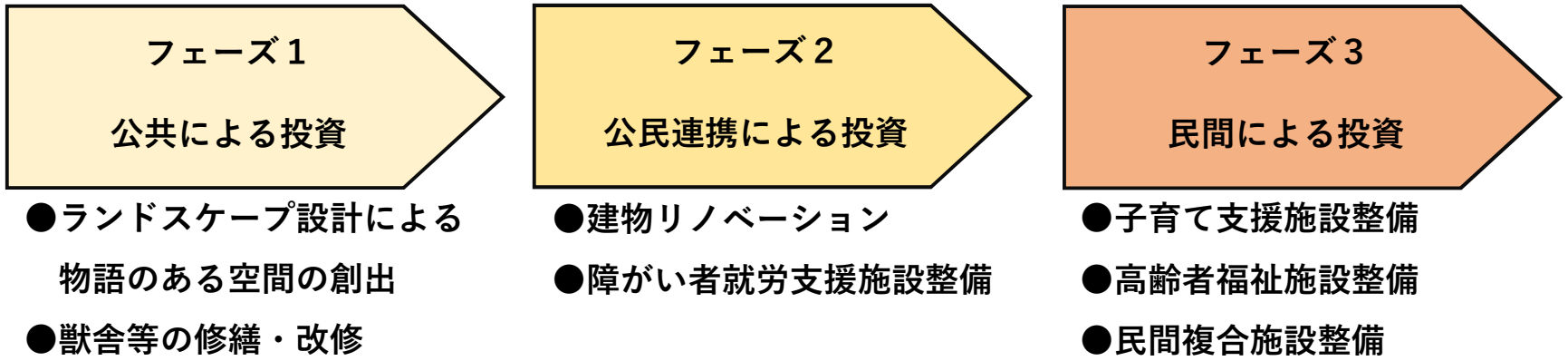
「種の保存」と「動物福祉」への貢献





これまでの取組  
事業内容  
寄附金の使途

PPPエージェント方式による、世界初の公民連携による動物園（公園）の再生に着手しています。  
令和2年度はランドスケープ実施設計（設計者：オンサイト計画設計事務所）が行われました。



動物病院の改築

体現要素

動物 人

動物の診療・診察を更に充実させます。



木質バイオマスボイラーの設置

体現要素

自然

剪定・間伐材等を活用し、園内でのエネルギー循環を目指します。



動物糞尿処理施設の設置

体現要素

自然

輸送に係る化石燃料や廃棄物の排出量を縮小させます。



理念に基づく他施設の改修

体現要素

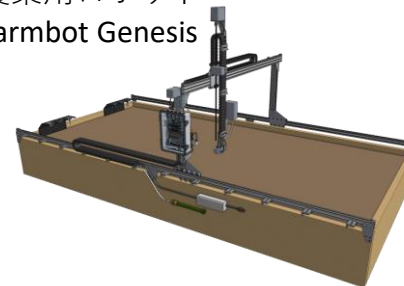
動物 人 自然

動物公園を更に豊かな空間とするため、施設の改修を行います。

背景

- ・ 2030年までに世界人口は85億人に達し、途上国の中間所得層の増加により農産物需要は1.5倍との予想
- ・ 世界的な農業DXの進行

農業用ロボット  
Farmbot Genesis



水やり機能

現状の課題

- ・ 農業分野におけるICTに長けた人材の不足
- ・ 令和2年度からプログラミング教育が必修化されたが農業を意識したものがない
- ・ 農業分野のICTに対する若年層の関心喚起



植え機能

事業の目的

- ・ **農業分野におけるICT人材の育成**



カメラ機能



ソーラーでオフグリッド化

これまでの取組

- 事業の1年目 (各事業の研究・開発・準備)
- ・ 書写養護学校(中高生)との協議に着手
  - ・ 農業版STEAM教育用カリキュラム作成に着手
  - ・ 近畿大学農学部へ研究委託し連携
  - ・ 東京大学大学院新領域創生科学研究科との情報交換



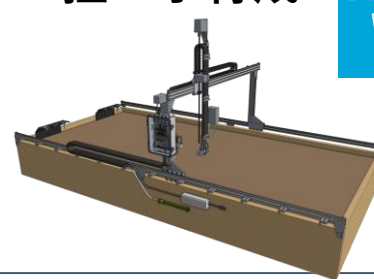
- ・ PCから遠隔操作可能
- ・ ハード&OS共オープンソース

事業  
内容

- ・スマート市民農園事業
- ・アグリテック甲子園事業
- ・ **農業版STEAM教育** 事業

事業期間 令和2年～令和6年  
事業費 1億3千万円(5年間)

アグリテック  
の担い手育成



農業用ロボット  
Farmbot Genesis

成果・目標

・ **農業分野のICT人材育成**

- ・ 農業分野のイノベーション創出
- ・ 重度身体障がい者の **農福連携**

地方創生推進交付金事業・ハーブの里山プロジェクトと連携し、収穫ロボットによるハーブの摘み取りの自動化を目指す

企業に求めるもの

- ・ 企業版ふるさと納税
- ・ アグリテック甲子園開催への支援
- ・ 農業版STEAM教育事業拡大への支援

企業のメリット

- ・ 農業DXの推進による市場拡大
- ・ イノベーション人材とのマッチング
- ・ SDGs達成への貢献のPR

得られる  
成果等